研究開発担当役員メッセージ

構造改革および事業ポートフォリオ改革の加速に向けて研究開発体制の強化に取り組んでいます。

専務執行役員
研究担当 兼 事業企画担当 兼 研究所長　**藤井 雄一**

三洋化成グループのコア技術である界面制御技術は、100年以上にわたる継続的な研究開発によって培われてきたものです。これを競争力の源泉として、急激に変化する事業環境に対応しつつ、当社グループの持続的な成長と企業価値の向上を目指して、構造改革とポートフォリオ改革を加速しています。

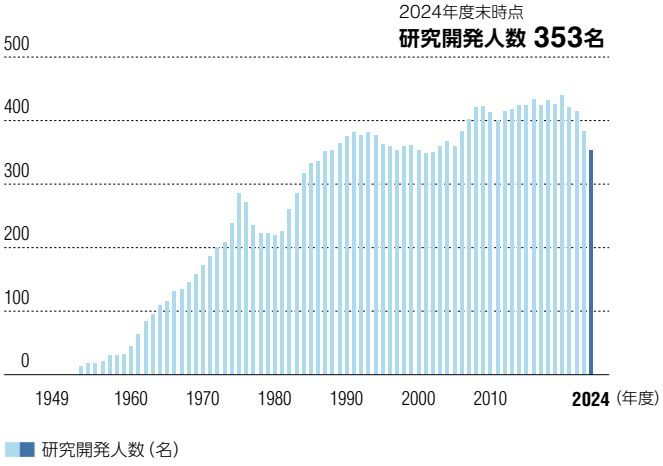
今期は2026年度から開始する次期中期経営計画の円滑なスタートのための大事な1年です。2025年4月に事業本部を再編したことで、研究部長の意思が組織に行き渡りやすくなり、人的流動性も高まりました。そして、“やりきる2025”をスローガンに、自身で決めたアクションをやりきり、真に会社の成長に資する製品開発を進めて、事業の成長につなげます。

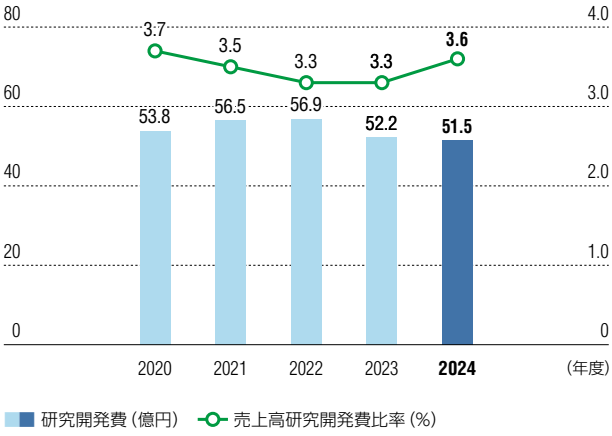
また、ポートフォリオ改革も積極的に推進しています。お客様との対話の充実による研究開発テーマの質の向上と数の増加、研究員のスキル向上による市場ニーズに即した製品開発を目指します。

加えて、構造改革を支える研究活動も重要な役割です。喫緊の課題である設備老朽化や中国での基礎化学品の大増産による価格競争の激化への対応として、生産設備の統廃合・集約、他社とのアライアンスによる生産や原料調達面での合理化、適地生産、グローバル原料調達を推進する上で、研究が培った技術力を活用し、きめ細やかな顧客対応を実行しています。また、ものづくり革新センターと協力し、筋肉質な体質への変革を目指します。

▶ 研究開発人数の推移

三洋化成の全従業員の約20%を研究開発に投入



▶ 研究開発費／売上高研究開発費比率

毎年売上高の約4%相当を研究開発費に投入